

この山に登ろう⑨

道後山 1268.9m

庄原市

広島県山岳連盟 事業部長 松島 宏



岩樋山から道後山



道後山

私が子どもの頃、家族でよく登った山です。当時は牧場のイメージが強く、黒い和牛がたくさん放牧されていました。両国牧場と呼ばれ、岩樋山と道後山の稜線が鳥取県と広島県の県境で和牛が200頭余り放牧されていました。両県の牛が越境して捜すのに困って「万里の長城」と呼ばれる石積みの土塁を明治時代の末期に築いたという記録が残っています。

今でもこの土塁を確認することができます

(写真1)。私の昭和30年代末期のセピア色の写真にも道後山で夏に草スキーをして背景に和牛がたくさん写っていました。

広島から自家用車で庄原ICまで高速を使えば2時間で登山口に到着します。登山口はスキー場の標識に導かれながら、道後山山の家の前の駐車場まで車で登っていきます。車を置き、山の家の前を通りスキー場のスロープの芝草の尾根を登ります。古い木の鳥居を通過し、季節の花のたくさん咲く尾根をゆっ



青線は磁北線 東西約500m間隔 長さ約1kmに設定





写真1：土塁



写真2：月見が丘駐車場とトイレ



写真3：山の家

くり登りましょう。やがて月見が丘の駐車場（写真2）、トイレに到着します。きれいな水洗トイレがあります。ここまでゆっくと30分。月見が丘の駐車場は標高1070mで、ここまで車で入れます。でも山の家（写真3）から芝草の尾根（写真4）を登ることをお勧めします。花が綺麗で眺めのいい尾根なのです。この標高まで車で上がれる山は広島でも珍しく、夏の避暑にはもってこいです。月見が丘からは快適な広葉樹林の中を20分で東屋（写真5）に到着します。ここからの眺めは最高です。東屋から登ると直ぐに分岐です。右は岩樋山の山腹をトラバースして行く道後山への近道。左の岩樋山に向かいましょう。植えられたカラマツ林の中に比婆山にもあるイチイの木（写真6）が目立ちます。30分で岩樋山頂上です。初夏はツツジが綺麗です。頂上からは大山、船通山、比婆山などが見渡せます。道後山の鞍部に下りると分岐があります。東に真っ直ぐ道後山に向かいましょう。土塁に沿ってゆったりとなだらかな斜面を登ります。大池からの分岐を過ぎ1271m

の最高点のピークです。その先の1269mのピークが一等三角点のある道後山頂上です。岩樋山から30分。360度の眺望は素晴らしい、の一言です。ゆっくり過ごしてください。目の前には猫山が聳え立っています。下山は南に回りこんで大池経由で帰りましょう。持丸山（多里大山）の分岐が直ぐに現れますので右に向かいます。大池はタタラ製鉄の「かんな流し」の跡と言われています。池は水が少なくなっていますが、道後山からしみだした水が溜まっています。

登ってきた主稜線の道に戻り。岩樋山の鞍部から左にトラバース道に入ります。東屋を経由して月見が丘に戻り山の家に戻りましょう。往復3時間で楽しい牧歌的な縦走が楽しめます。のんびりゆっくとハイキングを楽しみましょう。下山後は麓のクロカンパークに隣接する「ひばごん郷温泉 すずらん湯」で汗を流して帰りましょう。

（まつしま ひろし）



写真4：芝草の尾根（後ろは猫山）



写真5：東屋



写真6：イチイの木